

『太平洋ベルトライン』

作

岡  
安

伸  
治

登場人物

石川

沢田

木村

中竹

恵美

運転手①

運転手②

字幕

「高速道路を利用することによる直接の効果としては、走行費の軽減、輸送時間の短縮、交通事故の減少、運転者の疲労度の軽減、荷痛みの減少、梱包費の節約など。そして間接効果として、地方都市への人口分散や工場立地、生産、輸送計画の合理化、流通機構の円滑化、農業市場圏の広域化、あるいは観光資源の開発などがあげられる」

車の通過音

「サービスエリア、牧之原」

石川 もしもし：石川です、三十二便に乗っている。：すいませんけどね。今、牧之原サービスエリアで夕飯食うとこだけど、積荷のアルなんとかアルミなんですけどね。眠くてもうだめだから一眠りしてからにしてよ。ね、いいでしょ。：そりやなんとかなるつもりで受けたんだけど、眠くてかなわない。中竹部長あたりから関西の石油会社と連絡取ってさ。うん、：車輛係りだっていいじゃない、車洗えっというだけが仕事じゃないでしょ。：そりや東京まで二百キロだから飛ばせば二時間ちよっとだし、それから一時間みれば千葉まで行けるって思ったのよ。でも、ギブアップ、眠い。でさ、何とかして。：あ、事故起こしたら知らないよ。だつて強制保険しか入ってないんだから。人身からめば会社なんか潰れるよ、保障で。：居ねえの？ 帰った。だつてまだ夕方の六時じゃない。冗談じゃないよ。：うん：また、よくそういうことがいえるね。違約金がどうか知らないけど、そういう無理な契約する会社が悪いんだから。無理して受けなければ業務命令がどうかっていいたいこといわれるしよ。こうなったら助手席に乗ってんの道連れに、追突してペしゃんこになつたらか、もう。：いや、石油会社から積荷の送り先の会社の人だからついでに乗ってくれって、：当り前じゃない。事故起こしてね助手席に居る奴に対して責任とるの俺だからね。そんだったら一緒にの方が後腐れ無いもの。：あー、もう細かいのがないよ。でさ、今夜九時までに入ってくれっていわれてるんだ。：夜の九時まで。それを二時間でいいよ。休ませてくれよ。：うん：ふーん：いいよ、分ったよ。もう頼まねえ！（切る）よお！ よう、よう、よーう。駄目だよそんなの買っちゃ！

沢田、紙コップのコーヒーとコーラを手に登場

石川 時計でしょ？ 安物の使い捨てをスイス製とかいって売  
り付けるんだ。  
沢田 へえ、そうですか。どうぞ。（コーヒーを）

石川 あどうも…

沢田 いや、驚いたなあ。トイレの落書きの大きい、等身大の女性の下半身が目の前にバアンとあって…

石川 悪いですけど食事して少し眠ってから出ます。

沢田 ええどうぞ。で、何時頃着けますか？

石川 ここから飛ばせば三時間ですから。

沢田 でね、隣のトイレに入ったら今度は南京虫みたいに小さいのがこう丁寧に、いや良く書いてんですよ。じっと見入っちゃいましたけど…

石川、荷積みロープの張り点検

沢田 この食堂は何がおいしいですか？

石川 どれも同じメニューに同じ味、ハンバーグかカレー食ってれば間違いないです。ああ眠いなあ…

沢田 ねえ、あれ何の車ですか？

石川 どれですか、…ああ！ いけねえ移動検問所だ。悪いけど食事ちょっと我慢しやすく出すよ。(運転席に飛び乗る)

沢田 ええ、どうしたんです。何ですかあれ？

石川 いいから乗って、出すよ！

走り出す車

地図「東名高速道路」

木村 東名高速道路、東名高速道路は名神高速道路と小牧で接続し、京浜、中京、京阪神の五大経済圏の交通を支える大幹道である。東京から小牧間延長約三四六キロメートル、事業費三四二五億円で一九六九年五月に全線開通した。

中竹、伝票を手に登場

中竹 …みんな集まっている。仕事で疲れているところ悪いですけど、明日からのことなのでちょっと我慢して聞いて下さい。どうも毎日のお仕事「苦労さまです。

(木村が折リたたみ椅子、石鹼箱を手に、そっと入ってくる) 他でもないんですが時間が遅れるようなことがありましたら、すぐ無線なり、波長の具合が乱れて通じない場合は、高速道路のパーキングエリアから電話を入れるように再度徹底して下さい。荷主さんが生産予定に組み込んだかたちで運搬のスケジュールを組んでおります。今更言うまでもないことですが、荷主さんの荷をです

ね。指定の時間に安全にお届けするのが運送会社の役目です。どこの荷主さんもコストをいかに下げるかで非常に苦勞しておりまして、在庫を置く倉庫さえそのスペース、人員、保管上の問題から、必要なものを必要なだけ組立てライン工場に納めるという方法が常識になっております。当然そのベルトラインを止めるというようなことになれば運送会社はその分を賠償するという契約ですから、違約金を支払わなければなりません。それは結局皆さん一人一人が汗を流して働いた会社の稼ぎから出るわけですから、一人のミスが全体に及ぶものとなります。

#### 木村の笑い声

中竹 木村さん、いいですね。

木村 まるで俺だけが駄目みたい。トンネルの中は無線も使えないし、この間だって土砂崩れと居眠り事故のとぼちりで五時間の閉鎖ですからね…

中竹 色々あると思うの、それぞれ。でもね、荷主さんあつての我々だしさ、その点は臨機応変にやってよ。俺だって実際はそのぐらいのことしか言えないんだから、動けなければ仕方ないみたいなこと言うとするでしょ。すると荷主なんてのは高速道路で事故があるのは当たり前で、事故のないところをぬって走るから商売になるんじゃないって、これだ。拳句はそんな言い訳が通るところと取り引きしたらなんてね…

木村 運転手だから走れって言われれば走るよ。でもやっつけられないよ。朝の八時までに入れのなんの。計算すれば東名を平均九十キロで飛ばして五時間、小便する間もないくらいだもんね。(周りの同僚に)積み降ろしの時間入れてみなよ。

なあ…

石川 へへへ…

中竹 いやさ、そこで言い訳するとプロの運送会社じゃないってこと。

石川 都合のいいときばかりプロの運転手とかおだててよ。えっ。

中竹 学歴いらずの国家免許。これだけ車があれば事故もあるし、疲れば居眠りもするしさ、時間にはせつつかかれてるしね。で、万が一、区間閉鎖とか何かあったら次のエリアで会社か荷主さんに確実に電話を入れるようにして。朝の点検簿に今週から電話料金という項目を入れましたから、カードそれから百円玉と十円玉混ぜて千円、確認して下さい。伝票を出す時にタコグラフと一緒に必要事項を記入して戻してもらいます。

石川 この間みたいに、あの納入時間に遅れたから荷主に持って帰れって言われたら、やっぱり会社の方でなんとかし てくれんてしょ。

中竹 まずいんだな、契約違反だからこっちは何にも言えないの。そういうことなの

いように工夫してよ。悪いけど話が通じないのよ、東京から関西へ電話しても、だから皆さんの知恵で一つそういうことのないように…時間、なにしろ時間までに入れて、他のことは二の次にして。

木村 東京から大阪へ夜運んでさ、荷降ろしが朝八時半から、昼過ぎに他のを引き取って長野。それで朝までにまた大阪だなんてのは、これはあれでしょ。いやだつて断っていいんでしょう？

中竹 それがプロじゃない。

中竹去る

木村去る

沢田、二つのマスコットを取り出す

石川 お子さん二人ですか？

沢田 上が女で下が男、下のがきかなくて…

テレビのコマーシャル音

恵美登場

恵美 あら、お帰りなさい。武寝かしつけて眠っちゃった。

石川 新聞は？

恵美 どうしたかしら…

石川 何だ、おいカレーかよ？

恵美 武が食べたって…

石川 いらねえよ。昼もカレーだ。いいかげんにしろよ。

恵美 だってあんたが何食べてるのか分らないじゃない。一旦 出れば二日も三日も帰らないことだって…

石川 何でもいいから出せよ。

恵美 はい、新聞…

石川 もう少し片付けとけよ。汚ねえなあ、こんな狭いアパート掃除ぐらいたつさと出来るじゃねえか！

恵美 大きな声出さないでよ。武が起きるでしょ。雨で洗濯物の、コインランドリーは並んでるし。 片付かなかった

石川 何だこれ？ キャベツの刻んだの、竹輪の煮付。温った めて出せよ。お新香は？

恵美 切らしたの、福神漬ならあるわよ。

石川 馬鹿野郎！ 一体何だお前は。こんなもの出して良く女 房でございませ

なんて面すんじゃないよ。

恵美 どうしろって言うのよ。何でもいって言ったじゃない。

石川 いらねえよ。

恵美 何があったか知らないけど八当たりはやめてよ。

石川 誰が？

恵美 他に誰が居るの？

石川 うるせえ！

恵美 大きな声出さないでって言うてるでしょ。隣またで壁叩いてくるじゃない。

石川 構うもんか。やらせろ！

恵美 ああ起こしちゃった。もう…

恵美去る

走る車の音

石川 でもいいや、子供に罪、無いから。

沢田 本当にねえ…

石川 何の苦労もなくて、(歌う)

沢田も歌う

沢田 移動検問所ってあれ何をするんですか？

石川 (通行券を手に) 高速道路の通行券に印をされると交換できなくなるんでね。

沢田 高速通行券を交換、そんなこと出来るんですか？

石川 下りの車とね。ポケットマネー。例えばほら大阪から東京まで、大型トラックでまあ二万四千円とするね。それを東京から来た車の券と交換して川崎か横浜で降りて走れば二万円は浮くんだな。それをこの高速道路の適当な所で交換するわけ、お互いにそれらしい車が止まっているのを見つけてなしをつける。

沢田 このビュンビュン走ってる所を横断するんですか？

石川 ちよくちよくやる所は中央分離帯に金網フェンスあつから…

沢田 させない為ですか？

石川 給料安いからね。…何やってんだこの前を走ってる車は、とろいなあ、左に寄ればいいのにイモが…… 積み過ぎたぞ欲かいて。…ほれ、ほら。この野郎。(右へ追い越し。エンジン音) もっと寄れっていうのにいやらしい奴だなあ。

沢田 本当になえ。(タバコを指で弾く)あらっ、あの車、積荷のところにのっちゃったかな。

石川 いいからいいから、大体もたもたしてるのが悪いんだ。沢田 燃えないかな？ 消えますよね。

石川 大丈夫だって。…腹へったなあ…

沢田 本当に大丈夫かな…

走る車

石川 あっ、居た居た居たっつと、いただき。(車を止め、車から降り反対車線へタオルを振って合図、通行券を掲げる)牧之原でね。検問やってるよ！ 牧之原！…どっから東名入ったの？ (車の通過音)…え！(走り抜け、中央分離帯へ。クラクション、通過音)…え？ 川崎インターから。こっちはほら西宮からだから。(渡ろうとし) あっ、いけねえ、パトカーだ。(隠れる)

パトカーのスピーカー

「大阪ナンバーの大型トラックの運転手さん、ここは駐停車禁止です。速やかに車を移動させなさい。ここは駐停車禁止です。上りの大型トラックも同じです。移動させなさい」

石川 いけねえ、やばいやばい。ああ、まずいなあ降りてきたぜ。

パトカーのスピーカー

「その中央分離帯で何をしている。危険ですから戻りなさい。故障ならば緊急電話を使うように、中央分離帯からすぐ離れなさい」

石川 飛び出す。転倒

急ハンドル、急ブレーキ、クラクション、石川再

び走り、

車に飛び乗る

走り出す車

石川 あー、ちきしょう、もうちょっとだったのになもう。

沢田 アハハハ…

石川 どこかで待ちかな…。これ夜の九時までに入ってくれて言われたんだけど、



明日の朝じゃまずいのかしら…

沢田 まあ。…工場は三交代でフル操業ですから。

石川 眠いなあ…。出張で関西に？

沢田 いや研修です。営業ですから一応商品知識について知ってはおきませんと…

石川 俺達はこっちの会社からあっちのって頼まれれば黙って運ぶだけだから、アル何とかアルミニウムって言ってましたね。(伝票を手にも) これ何です？

沢田 何だと思えます？ ウールの洗剤とかアルミニウムの触媒に使われたりもしますけど、うちではミサイルの燃料なんですよ。これ色々加工したり混ぜたりするんですよ、きつと。苦手だね、化学ばけ学っていうのはこう記号ばかりで頭いたくなっちゃう。でも仕事、一応知ってることになってないとまずいですものね。例えば、ミサイルはどうして飛ぶとか？

石川 どうして？

沢田 えっ？

石川 びゆうって穴から火を出して飛行機なんか追っかけて当てるでしょ。地球の反対側まででかいロケットは飛んでって、ちゃんと狙った所へ落ちるもの、下手な運転手より確かだ。

沢田 推進力ってやつだね。風船膨らませて離すとピューーって飛ぶでしょ、あれですね。ハハハ…本当は商学部の出なもんで詳しく分らないですけどね。それでミサイルも売るし電子計算機も売るし、何でも屋ですね。後ろの荷物を積み出した石油化学プラントの会社での研修も、この燃料の知識を吸収してというわけです。扱う商品をうちへ納めて下さる下請けさんに出掛けて、まあ勉強させていただく。

石川 営業も大変なんだ…

沢田 いや、運転手さんほどじゃないですよ。こんな危ないもの積んで昼夜走り回ってるんですもの、大したもんだ。いつもこうやって一人で遠走りするんですか？

石川 まあ。…それでか、東名の出口で消防署へコースを申告してくれて…

沢田 無色透明、空気に触れるだけで火が付くし、水なんか掛ければ爆発してボボンですからね。

石川 水？

沢田 でひっくり返って燃えたらあんだ。いや全くね、消す方法がないんだって。それをですよ、どうしたら消せるか？石川 ……

沢田 酸素が無くなれば消えます。

石川 酸素？

沢田 蓋をしてコップの中の火を消すでしょ、これですね。ですから都合良くトンネルの中でひっくり返って燃えた場合はですよ。トンネルの入口と出口を密閉す

れば火は消えます。

石川 …… 運転手は？ ……

沢田 …… ハハハハ…

石川 トンネルの中、スプリングラーから水がザアツと出るからこいつの場合は…  
沢田 いや、酸素さえなければ大丈夫です。スプリングラー？ …… ああ防災設備

ですね。危なくないものなんてこの世の中にありますか？ うちの会社なんか死の商人なんて言われて。でも、うちで売らなくてもどこかよそで売り出しますしね。だったら質、性能共に優れたものを開発して作ってですよ。その技術をうちで扱う商品に応用した方が会社の発展にもつながるし、ボーナスも増えますしね。でも、俺の売ってるのは人殺しの道具だなんて若いうちはセンチになったこともあるんですけどね。

石川 ふふん。

沢田 アメリカなんか日本の技術能力が無いって馬鹿にした時期もあったんですけど、最近は少しずつ変わってきましたね。どっちが技術がないか。

石川 ふうん、お宅で売るそれは一発幾らなの？

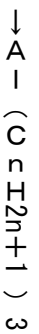
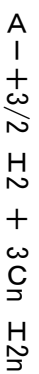
沢田 色々ありますよ。小さいのから大きいので。 …… 運転手さん護身に、

ミサイル一発一億八千五百万。

石川 一発、一億八千五百万か。

二人笑う

「アルキルアルミニウムの化学式



別名 トリエチルアルミニウム」

沢田 アルキルアルミニウム、比重、二十度Cで0・八三七、融点、マイナス四十五・五度C、沸点、百八十七度C、無色透明の液体で石油化学工業における有機合成用の触媒として広く使用されているが、空気に触れるだけで発火し、水に激しく反応して大爆発するので取扱いには十分な注意が必要である。主にウールの洗剤、アルミニウムの触媒、ジェットミサイルの燃料に使用されている。現在、一旦火が付くと適切な消化方法はない。

沢田、眠る

木村登場

木村、荷積み

木村 馬鹿だよな。遊びがこんだよ。

石川 この間の事故か？

木村 あのさ、一年毎に車体検査を受けるのはいいよ。いくら民間の車検場で安くすむからって事故やれば俺らが責任取らされるんだしさ。

石川 安かろう悪かろうってね。

木村 そりゃ分るの、分るけどさ…

石川 明日休み？

木村 いや働かせて下さいよ。石川ちゃんみたいにお金が自分で自由になる人はいいいよ。俺なんか養子みたいなんもんでさ。

石川 でも、ようやるじゃない。

木村 貧乏なの、心が、精神が貧しいの。働くことしか出来ないんだって。

石川 例の話だけど…

木村 組合のことか？ それぐらい無くちゃ今時おかしいものな。一人じゃどうにもならないし。

石川 組合を作らなくても出すものは出して貰おうぜ。

木村 だから分ってるって、世の中そんなもんだって。

石川 何が？ 木村ちゃんは母ちゃんが働いて自分の家で事業やってっから、そのんきに構えてるけどさ。俺んとこなんか…

木村 よせよ。古い電線コード集めて来て皮むいてるだけじゃない。そんなんじゃないって。家のローンの支払いが済むまで必死なんだから。

石川 今度の懇談会ではつきり言ってやろうぜ。残業なんかやらないってよ。

木村 ねえ、陰じゃでかいこと言ったって、いざとなればみんな黙っちゃうのよ。俺も人のこと言えた義理じゃないけど…

石川 基本給が安くていろんな手当でやっただげ。みんなの口車に乗って残業と車中泊手当もつと上げろなんて騒いでさ…

木村 いやね、みんなも欲しいのよ本当は。でもさ、俺のやった追突事故で人身がからんで会社は示談でゴタゴタしてさ。二日前だっけ、ロープの南京掛けがしっかりしすぎてたんだか何だか、積荷のタバコのフィルターの材料は駄目にするとかさ。得意先的美顔器は売れなくてぼしやる。燃料費、高速代金は上がる。(メモに記入)お得意潰したらおまんま食い上げだもんな。辞めたっていいよ。失業保険だって働きたくても働き口の無い人しか貰えない。運転手なんて仕事は腐るほどあるし、それよりお互いに少しでも知って慣れたところの方が気が楽じゃない。

石川 じゃ、飛脚のマークの笹川急便でも行くか。

木村 いや、それを言っちゃおしまいよ。あそこは運転手を人 間だと思ってな

石川 いもの。子供が居れば無茶出来ないし、  
あいよ。 我身大事でさ。…いくよ。

木村、ロープ掛け作業

木村 おいさ！

石川 おっ。…おっ。

木村 あいよ。

ロープを使って南京掛け作業

石川の掛け声は積荷の上で木村の一回目の掛け声に合わせてロープを上に引き、張りを作る時のもの

石川 あそこは組合は無くても金は出すからな、うちは何も無いじゃない。でよ、運転手一人でも入れるそういうのがあるんだって、どっちかにしようぜどっちかに。

木村 一人で？ 普通は会社の中にあるんじゃないの、それとは別？ おいさ。

石川 おらおらっ！

木村 よっよい！

石川 もうなんかこうバラバラだよ。みんな何考えてんだかちつとも分らないしよ。東名のサービエリアでめし食ってる時話し掛けられてさ、始めは安物の時計でも売り付けられんのかと思ったら、組合あんのお宅なんて言われちゃってさ。

木村 大丈夫か、それ？

石川 あるよって言ってやったよ。

木村 おいさ。

石川 おらおらっ！

木村 よっよい！

石川 そしたら色々話して実は無いってことがばれちゃってさ

木村 誘われたの？

石川 一度電話くれたって。一人で来にくければ友達と来いと。

木村 俺？

石川 お前。

木村 そういうのやばいよ。色々しなくちゃいけないんだろ。駄目だ、それじゃ。おいさ。

石川 おらおらっ！

木村 よっよい！

石川 お前ね、お前だよ。人から助けて貰おうと思ったら、まず人様を助けることだ  
って言ったの。救うことによってすくわれるって。

木村 いやそれはね。この間、朝早くにキリストの説教かなんかのラジオ放送でね。  
いや、ああいうのもいいよ、たまには。

石川 行こうぜ。なっ。

木村 仕事もあるしな。おいさ。

石川 おらおらっ！

木村 よっよい！

石川 仕事が無いところに組合はいらないんだよ。

木村 このくそ忙しいのに？

石川 人が居ないから俺達が忙しい思いすんだよ。

木村 休み取れないもの。

石川 だから有給休暇を増やすの。満足に有休も無いところに人が来るかよ。

木村 だから簡単に首にならないんじゃない。

石川 えっ？

木村 おいさ。

石川 おらおらっ！

木村 よっよい！

石川 義理もあるしよ。

石川 事故のことか？

木村 ……

石川 事故起こしたくて起こす奴なんかいないよ。集りがあればそういう保証もきち  
っとするんだって。

木村 女房がなあ…

石川 お前のことだろ。

木村 だから車検がちゃんとしてればこんなことにならずにな。おいさ。

石川 おらおらっ！

木村 よっよい！ 助手の金子さんね。朝鮮人だったんだってね。

石川 えっ？

木村 大なんとか収容所っていうのがあってさ。そこへ入れられたんだってよ。

石川 ええ？ もうちょっと前の方へずらして。

木村 おっ。

石川 あの人が？

木村 わかんないもんだね。あんなに真面目に働く人がさ。密入国だったんだってよ

石川 韓国からの。船かなんかで来るのかね、やっばり。おいさ。  
おらおらっ！

木村 よっよい！

石川 …おっととと。それちょっと後ろの方から回そうか。角に当て物した方がいいから、ちょっと待ってよ。…あいよ！

木村 よっ。わざわざ日本に出稼ぎに来るのも命懸けだよ。国に返されれば犯罪人なんだろ？

石川 シートいいね。この天気なら。

木村 大丈夫でしょ。密告だつてさ、仲間の、日本の国からね、賞金が出されるんだつて。いやらしいことするよな。おいさ。

石川 おらおらっ！

木村 よっよい！

石川 よっよい！

木村 おらおらっ！ (ロープ掛け終了)

石川 後ひと月だね、免停切れんの。講習は？

木村 明日だけどさ、石川ちゃんは点数だいぶあるの？

石川 十点、この程度で大丈夫でしょ。

木村 でも、あつという間だからね。十五点なんてのは。

石川 人様を轢いて刑務所入るよりいいじゃない。

木村 そりゃそうだ。

#### 中竹登場

中竹 どうも御苦労さん。木村君(伝票を渡し)これあたってくれないか。

木村 …はい。(去る)

中竹 石川君。事務所にタコグラフの紙届いてるからね。

石川 部長。係長にも言ったんですけど、タコグラフ良く見といて下さいよ。三十分過ぎてんですから、ちゃんと残業お願いしますね。

中竹 いや、専務が細かいのよ。社長も私もそこいらいい意味でおおらかなんだけど、自分が社長になれなかつたもんで…

石川 専務と社長の派閥はいいけどさ、そのとばっちりはねえ…

中竹 分かる分かる。…ねえ、それよりちょっと小耳に挟んだんだけどさ、ちょっといいかな。時間ある？ 疲れているところ悪いけど…

石川 …

中竹 おうい、洗車はいいけど水出しっぱなしにするなよ、節約、節約。…ほら、あの何か集まりをつくるとかって話があるんだって？ 本当？

石川 …

中竹 いや、みんなのことは会社一番が心配してるのよ。これは社長も専務も一緒。

石川 ……  
中竹 元々が運送会社でなくて親会社の運輸部を独立してつくったもんだから、色々無理なこともあるのよ。でさ、ここで組合が出来るなんていうとき、親会社っていうか他のお得意さんの心証のこともあるしさ…

石川 大きな運送会社はみんなそういうのあって、ちゃんと商売してるじゃないですか。

中竹 だから、残業手当てのこともさ、僕の方からちゃんと間に入ってするしさ。まあ色々あるだろうけど僕の顔をたててさ…

石川 ……  
中竹 お得意さんあつての会社、会社あつての我々。どう一本（タバコ）心証悪くして割食つたら、結局いやな仕事するのは運転手なんだしさ、これ以上あまりゴタゴタするの、得じゃないと思うけどね。（火をつける）これなのよ、社長や専務や私なんか含めて心配なのは。会社を大きくすればそれだけ利益も上がるし、そうすればさ、お得意なんかにかいかい顔されずにこっちから選べるくらいになるしね。いやな仕事は断るし、色々得なのよ。今のところ色々あると思うけど、ここは一つ俺の顔をたててさ、みんな仲良くやろうよ。せっかくこうやって長い事同じ釜のめし食って来たんじゃない。でね、今度の土曜日の晩にみんな一杯飲もうってことになってさ、社長も金一封出すって言ってるし、ここはあんたを男と見込で、ここまで言いたいことあるのをぐっと押さえて男儀見せてよ。時期が来れば出来るものは自然と出来るし、それまではさ…

石川 時期って？

中竹 そう、上の方はどう考えるのか分からないけど、私なんかだところ会社の業績もすっかりして大きく、そのためには一人一人が単に運転だけしてればいいなんてことじゃなくて、営業マンとしてのセンスを持って、他よりも一歩でも二歩でも優れた技術と営業的な才能を発揮することこそ今は大事だし、そうすることがいい意味で組合をつくっていくベースが出来るんじゃないかな。もう単にこれだけ運ばばいいなんて考えじゃ駄目だよ今は。何でも来いっていうぐらいの気迫がなくちゃ、ガンガン稼いで車の一台も自分で持って独立するぐらいのつもりでなくちゃ。…ねえ、悪いようにしないから。（去る）

石川 ……木村のおしゃべりめ。

### 「日本坂トンネル」

石川 日本坂トンネル事故。一九七九年七月十一日午後六時三十分頃、日本坂トンネル下り線、焼津口から四百八十メートル地点。トラック四台、乗用車二台が追突事故。乗用車セドリックのガソリントタンクに亀裂が入り電気系統 のシ

ヨートで引火。トンネル内にいた計百七十三台が次々に炎上、十三日夕方になって下火になった。死者七名。

#### ラジオ放送

「こちらは日本道路公団および静岡県警です。先程静岡インター手前で大型トラック事故により一車線通行となって十キロに渡り渋滞しております。この日本坂トンネル通過は一時から一時間三十分掛かる予定ですので御協力をお願いいたします。繰り返します」

#### クラクシヨン

沢田 ああ、よく眠っちゃった。ここは…トンネルの中ですね、どこいらあたりですか？  
石川 日本坂トンネル。(タバコ) 沢田 ここですか？ あの事故で百七十台だから百八十台の車が燃えたっていうのは。死んだんでしょ何人かね？ …そこがねえ。でも、もうすっかりきれいになってますね。

石川 いつまでも閉鎖じゃね。

沢田 東海道なんか混んで大変でしたね。

石川 中央高速…

沢田 えっ？ 信州の方、あっち使ってますか？

石川 ぐるっと回るのはニヤンコの目…

沢田 ハハハ…ちっとも動きませんね。…ああ、もうこんな時間だ。…すいません、一本いいですか？ (受けとる) さっき買っとけばねえ。…大丈夫ですか、間に合いますか、こんな調子で…

石川 …

沢田 東京へ行く車があるから乗せて貰えなんて言われて、やっぱり新幹線の方が良かったかな…

石川 十分か五分の差で、事故の前走るか後を走るかの違いだね。

沢田 いや、そういうつもりじゃ。乗せて貰ってるのに。すぐ出られると思ったら本社からの電話でしょ。人員のやりくりでばたばたして、もう少し早く出ればね…

#### 間

石川 あーあ。(ハンドルに寄り掛かるようにして強く目をこする)

沢田 ひどくなるとやっぱ無理せずどっかで仮眠するんでしょ？



石川 まあね。

沢田 でも、トンネルの中じゃしようがないですものね。あの、覚醒剤やるなんていうのも聞きましたけど？

石川 ……（首を横に振る）

沢田 そうですか。ひどい幻覚なんか起こるんでしょうね。

石川 ……

沢田 ああ、動きましたよ。

石川 ……

沢田 いや、大変ですね。私なんかじゃ出来ないや。…蒸すなあ。…ナパーム弾の原料にもなりますしね。

石川 ……

沢田 焼夷弾、火の海になるやつ。B二十九で東京大空襲、ゴーツ、バラバラ、ブア―ってあれね。……

石川 ……

沢田 ट्रラックは武器か？ 武器でないか？ どう思います？

石川 武器？

沢田 そう、武器ならば輸出出来ない。しかし日本の車は今や世界の自動車。英国、ECなにするものぞ、アメリカ以下同文。武器輸出三原則がありまして、武器と名のつくものは輸出しちゃいけないことになっている。でも、何を売ってもいいから商売になるんで、売ったものを相手が煮て食おうが焼いて食おうが、それは相手の自由だと思っただけね。イランだろうがイラクだろうがかまわれないじゃない。日本が売らなければ他の国が売るんだから。カーターからレ―ガン、益々面白くなりますね。ニカラグア、エルサルバドル、コスタリカ、ホンジュラス、リビア。

石川 一般常識ならトラックは武器にならないでしょ。

沢田 そう常識的には、しかし走る凶器。ミサイルや大砲がこれにつきますと武器。大砲は人も弾もある。これを運ぶのはつまり武器。しかし、トラックならば武器ではない。

石川 ……

沢田 どこから武器で、どこから武器でないと言えますか？ このナパーム弾の原料も飛行機から落とされれば爆弾。自動車で運べば一石油化学コンビナートから生まれた一原料にすぎませんよ。

石川 これは武器にならない？

沢田 しかし、これを積んだトラックの運転手さんがどこかへ意図と意思…

石川 糸と石？

沢田 いや、目的と方向を持てば殺人兵器で武器とみなされる。

石川 …つまり。

沢田 トラックは軍用に使われるものは武器で、そうでないものはそうでない。平和憲法大いに結構、それでおまんまいただけけるなら。

石川 特別に違うんですか？

沢田 多少値がはります。構造は同じですけどね。こればかりは安かろう悪かろうは通用しませんから。頑丈に。

石川 頑丈に。

#### 運転手①登場

運転手① あーあ。事故かしら、まいるよね。どちらまで？

石川 東京を通過して千葉まで。

運転手① 何運んでるんです？ 薬品何かですか？

石川 武器だよ。

沢田 ……

運転手① えっ？

石川 武器！

運転手① へえ…？

石川 これはよ。軍用車！ 爆弾積んでるの！

運転手① はあん、そう。そりゃ大変だ…ばあか。(去る)

石川 ばあか。ちくしょう、いらつくなあ。

沢田 運転手さん長いんですか？

石川 いや、俺は事務所の机の前で一日居るの苦手だね。これなら一人でしょ。それに車は俺のいう通りに動いてくれるしね。事故でもあれば自分の判断しだいで道選んでさ、そういう意味じゃ気が楽だから。

沢田 仲間同志で競争になるんでしょ、やっぱり。

石川 まあ、事故さえ起きなければいい商売だと思うけどね。車中泊が無くなったんでね。

沢田 えっ？

石川 車中泊、この車で寝ること。(座席の後方のベットの示し)ここだね。

沢田 じゃ、トンボ返り。

石川 東京から長野、長野から大阪。それで自宅の急ぎにぶつかったの。(ラジオのスイッチ)

沢田 じゃ大変だ、へえ…

#### ラジオ放送

「先程静岡インター手前で、大型トラック事故により一車線通行となって十キロに渡り渋滞しております。この日本坂トンネル通過は、一時間から一時間三十分掛かる予定ですので…」

切る

沢田 普通のラジオ放送は入らないんですね。

石川 ああ。レッカーかなんかでさっさと高速道路脇へおっぼり出しちまえばいいのによ。

沢田 トンネル出たら脇へ寄せて少し休みますか。…いや、大変ですよね全く。私もね今度急に呼び戻されたんですけど、国会の予算がらみなんです。サミットだ防衛予算増額の見通し。さあ仕事だ仕事とって来い。予算がけずられた他にとられるな。さあ行つて来い。ですからね。誰かがやらなければならぬ仕事だから、私がやらなくても他の人間使いますしね。うちの会社がやらなくてもどこか他の会社が。組合なんか一部の人は軍事産業反対なんて言ってますけど、その人がやらなくても他の人間がやれば同じですしね。食わなきゃならないし、世の中食うか食われるか。食われなければ相手食うしかないですものね。

石川 まあね。…動かねえなあ。もう何やってんだ全く…

沢田 おかしいと思うんですよ。組合を大きく強いものにする為には、多くの人がいなくて駄目。多くの人を入れる為には、会社が大きくないと駄目。会社を大きくする為には、他の会社よりもより優れたものをより安くコストダウンして売らなくてはならない。会社があつて社員がいるんで社員がいるから組合があるんで会社が無くなれば社員も組合も無いんで。ねえ？

石川 駄目なんじゃないかね、うちなんか。小さいからね。まだ組合なんか無いしね。

沢田 組合も無い会社じゃ、こういっちゃなんですけど今どき、ねえ。作ればいいじゃないですか当然の権利なんだから。

石川 みつもないよね。

沢田 会社の信用にも関わりますよ。運輸関係で何かそういうのあるんでしょう。

石川 じゃないかな…（眠気）

沢田 そりゃ作るべきですよ。私なんかもやっぱり色々と考えますよ。会社にとっていいこと、そして組合にとつても。それと当然自分の未来というんですかね、生きがい。いや羨ましいですよ。一人で突発的な事故に対応しながら約束の地へ時間をたがわず運ぶ。これも立派な生きがいですよ。私はそう思いますけどね。同期でね研究スタッフに入ったのがいるんですけど。いや目つきが変わり

ました。どう効果的により多くの成果を上げるか、営業と同じですよ。より少ない費用でより命中精度をあげて、なおかつ長期保存に耐えるか。普通の大砲の弾は長持ちするんですけどね。ミサイルは十年で使いものになりませんしね。それと定期的に検査もしないと、で結局高いものになってしまうんですよ人件費とか。でも一心に打ち込める何かを持った人間ていうのはやっぱりいいですよ。どこか違いますものね。…

クラクション、追突音

石川、沢田大きいのけぞる

石川 ああ！ いけねえサイド。車がバックした。(少し前進)

石川降りて後方へ

入れ違いに運転手②登場

石川戻る

石川 いや、ついブレーキの足ゆるんだらしいの。悪い、申し 訳ない。

運転手② おんどりや何してけつかんねん！

石川 …

運転手② こっちは鋼材やからたいしたことないけど。あんたんとこの何か入った入れもの、ちょっといかれたみたいやで。

石川 えっ！

石川再び後方へ

運転手②は沢田を見上げ

運転手② びつくらこいたやないか！ 昨日や今日乗ってんのとちやうやろ！

石川戻る

石川 すいませんでしたね。お宅の方は運転席より突き出ている鋼材だから良かった。もし、でなけりや足でもおっぺ して人身だもの。

運転手② 我な。女や思おてなめてんのとちやうか。これでもガキ五人食わしとんじや。お互い遊んどるわけやないねんから、これ以上しようもないことさらすな！

石川 どうも…

運転手② (去りかけ) あれ、きなくさいな…

石川 えっ？

運転手② (後方を見て) ああ、あっちゃの方。積荷から煙のはいとるやんけ、あの車。あっちもこっちも、ええかげんにさらせ！ (去る)

沢田 (降りる) まさか！

石川 大丈夫だよ。車はみんな消火器持ってたんだから。

沢田 あれっ！ あの車、私がタバコ投げた奴じゃないかな…本当に大丈夫でしょうね？

石川 分かんないよ。駿河湾からの風で吹き抜けるから、それに車はみんな燃料タンクってもの持ってるしね。…ちきしょう。ちんたらちんたら動きやがってもう！

石川車に乗る

続いて沢田

沢田 …

石川 ローンでね。知り合いが家買ってさ、条件に生命保険へ入れられたんだって、しっかりしてるよね。

沢田 そりゃ、銀行なんてのは人様の生命と引き替えで大きくなるんですから。

石川 で、変な死に方だとおりないしね。こんなもの運んでたと分かるとどうなるのかな…

沢田 これも一応危険物の資格があればいいんでしょ？

石川 …

沢田 大丈夫ですよ？

石川 …

沢田 空気に触れるだけで火はつくし、スプリンクラーですから…

石川 …俺に保険は無いわけだ。

沢田 えっ？ (降りようと)

石川 どうした？ 小便？

沢田 …

石川 …一日六万台、このトンネル走る車。一日四十二万トンだってさ、いろんな物が運ばれてんだよ。この前の中で燃えたやつは被害はトンネル直すだけで三十億円。…もし、ここで火出したらおたくの会社もうちの会社もどうなるのかね？

沢田 資格も持っていない人にお宅の会社はこんな危険な物を

石川 さつきから聞いてればこの野郎資格資格って、一体誰がこんなもの運ぶ資格を  
持ってるっていうんだ。俺が運んじやいけないのか？

沢田 危ないから休めばいいじゃない。

石川 仕事だからな。時間までに持って行けば文句ないだろ！

沢田 違うでしょ、言ってることが。そんな状態でこんな危ない物を運ぶなんて…

石川 そうすれば、こんな馬鹿な仕事のやり方しないですむんだよ。

沢田 何が？

石川 組合だよ。さつきから言ってるだろうが。

沢田 どうして？

石川 何か新しいことをやろうとしてまわりを納得させるには、人一倍仕事でも何で  
も出来なければ駄目なんだよ。やらせればどんなことでもやる。泣きが入らな  
い奴の言うことしか誰も聞かないんだ。当り前じゃないか。

沢田 でもこんなものこんな状態で運ぶのは…

石川 こんな状態って俺のこと？ 俺の仕事だからこれは。

沢田 何も無理してやらなくたって…

石川 あんたの会社だよ、させてるのは！ 人より早く荷物を安全に運ぶ。道路がど  
うであろうと車がどうであろうと自分の身体がどうであろうと女房が泣きこ  
と言おうが、何でもかんでも人より出来て初めてものを言うことが出来るんだ。

沢田 そんな組合なんでものは手続きだけで出来るでしょうが。

石川 そんなものは手続きでこわれるわ！

沢田 危なくない仕事をする為に危ない仕事をするわけ。

石川 そう！

沢田 居眠り運転しないようにする為に居眠り運転！

石川 寝てないだろ！

沢田 さつきぶつかったじゃない。

石川 寝てないだろうが。ほらちゃんとこうやって起きてるだろうが。

沢田 車がさがってぶつかったじゃない！

石川 降りるなら降りてもかまわないだよ。いつ爆発するか分かんないしな、走れ  
よ。百メートル何秒だ？

沢田 …

石川 とっとと走ればいいだろうが。そうやっているうちに今度はさつきのばあが、  
ぼやっとして追突してくるぞ。ひびが入って漏れれば火がポツと着くから分か  
るしな。するとスプリンクラーの水がシャワーとなって降りそそぐ、今度は爆  
発だ。入口と出口へ向かって火が吹き出すんだ。ブァワワワー！

沢田 …

石川 労災だって随分貰えるんだろ、結構じゃないか。何も無いんだ俺達は、いや俺にはだ。何も立派な保証が無いんだ、何も。降りてもいいぞ、戻るか進むかこのトンネルのなかではどちらか一つ。これは俺の仕事だからな。組合さえあれば…

沢田 あんたね！ 明治や大正じゃあるまいし、組合組合って。あんたんところがやらなくても他のところが運ぶよ。ゼネストなら別だけどね！

石川 他が？ 他の奴が？

沢田 ああ。ゼネストでもやれば全部止まるよ。あんたできるか、ゼネスト。

石川 手前。人に学歴がないと思って馬鹿にしゃがって（立上がり頭をぶつけ）あいた。降りろよ！

石川は降りて隣りの車に

石川 何見てんだバカヤロー！

石川、沢田側のドアの外に立つ

石川 降りろっていうんだよ！

沢田 何だ！

石川 ゼネストでも何でもやってやろうじゃねえか！

沢田 ああ！ できるもんならやってみろ、ここで。ここでできるか！

石川 降りろってんだよ、この野郎！

停電

石川 ! ::

沢田 ? ::

石川 …停電か？

石川、運転席に戻る

ラジオのスイッチ、雑音のみ、消す

石川 揺れてたのかな？ ::

沢田 地震？ …まさか…崩れるようなことは…ねえ。

石川 ::

沢田 ああ！ 停電だとするとこのトンネルの中を換気する機械も止まる。…この中

の自動車の排気ガスで…(ラジオのスイッチ) どうなってんだ。おい、外はど  
うなってんだ。

石川 (降り) どういつもこいつもちんたらしやがってもう。

沢田 何を考えてるんだ。他の車は一体何が積んであるんだ！

石川、後方を

沢田は乗ったまま後方を

恵美登場

ドアのノック音

恵美 すいません、夜分遅く。隣の石川ですけども…こんな夜分遅く申し訳ありま  
せん。子供が急に熱出して、それで氷を少し分けていただけませんでしょう  
か？ …いえ、救急車を呼ぶほどじゃないと思うんですけど…そうです  
か、少しでも結構です。どうもありがとうございます。…ええ、もうじき帰っ  
てくると思うんですけど車の運転手ですから遠くまでいっちらやうと時間が  
なかなか。…ええ！ それだけあればとりあえず、喉が弱いんでそれだと思っ  
たんです。熱さましの薬飲ませたんですけど…座薬があればね。…本当にどうも  
ありがとうございます。じゃ。

沢田 (前方に向き直り) ああ、動き出した。動き出しましたよ。動いた。動いた。

石川は運転席に戻る

恵美 武、武。しっかり、分かる？ 母ちゃんだよ。分かる分かるね。しっかりする  
んだよ。もう少しすれば父ちゃん帰って来るからね。そうしたら大丈夫だから  
ね。…がんばろうね、しっかりするんだよ。…あら、帰ってきたかしら。(去る)

石川 (動く) ようしようし、出口はもう少しだ。ハハハ…馬鹿野郎さまあみろ。ハ  
ハハ…(急ブレーキ) おい、おい、何やってるんだ。早く行けよ。馬鹿このど  
じ。何をぐずぐずしてるんだ、この野郎。(クラクション) ちくしょう。おうい、  
何やってんだ！ 動かないのか？ しょうがねえなあ。(手を出して右側の車  
線へ) よっ、よっ、止まったらこの野郎。止まれているんだよ。ちくし  
ょう、左に寄せて、もうちょっと前へ出せよ。切れないだろ。ようよう止まれ。  
この野郎出口近いんだからあわてることないだろうが、この野郎。

右車線に出ようとする

ガラスの割れる音



石川 危ねえ！…ホロでミラー引っ掛けやがった。あの野郎、おい！降りて押せよ。手前の車だろうが、初心者マークの矢印だてじゃないんだろ。押して左の方へ寄せろっていうんだよ！この野郎。（後方のクラクション）

降りて車の前後の確認

石川 ああ、つめちゃったからハンドルの切り返しが出来ねえや。もたもたしてっとなみんなおっ死んじやうんだぞ！ああ、もういい。俺が押してやっから（押す）おい。乗ったままですましてないで降りて押すんだよ。こっやったってハンドル持てんだろ、そうだよ。おねえちゃんも押せよ。

沢田も降りて加わる。女性に頭をさげる  
車を押す

石川 いくぞ。…バカヤロー！サイド！

再び押す

石川 何、ガソリンが無くなっちゃいました。爆発してこま切れになるよりましだ。そうれ、ようしもう少した。（動く）いいよこんなもんで、俺だけハンドル切れればいいんだから。

沢田 ! : :

石川 何だよ、ガソリン切れだなんていうのは運転手の責任だよ。お前らに高速走る資格なんかないぞ、電話して来て貰いな。じゃあな。

石川と沢田飛び乗る

右車線へ強引に突っ込む

石川 馬鹿野郎！うるせえ！

沢田が座席から落ちる

チェンジレバーに身体が接触

石川 ほれ、どけ。どけっの！

沢田 すいません。袖が。

石川 チェンジレバーが切れねえだろうが。この野郎。

前の車に追突しそうになり、ハンドルを切る

沢田 うわ、うわああー。(車から落ち、追い掛ける沢田) ちょっと、ちょっと…運転  
手さん…待って。(追い付く)

(石川 危ねー。(車に)…悪い悪い…わざとじゃないって…あっちへ行けっていうの  
…この野郎!)

沢田、車に飛び乗る

石川・沢田 うわー! うわー! うわー!

走る車

中竹を追うように木村登場

中竹 はい、ただ今まいります。ちょっとお待ち下さい。

木村 部長、待って下さいよ。逃げることはないでしょ。

中竹 別に逃げてはいないよ。ただ会議があるから失敬といったままで…

木村 社長も専務も出掛けていやしなないじゃないですか。

中竹 打ち合わせ打ち合わせ。(クラクション) はい、今行きます。

木村 ねえ、この通り後生ですから刑務所は勘弁して下さいよ。

中竹 そうはしたくないですよ。しかしね、相手が訴えたもの仕方がないでしょう。

木村 示談で穏便にすまして言ってくれたじゃないですか。お願いしますよ、もう  
一度。

中竹 こちらは穩便にできましたよ。しかしね相手の方がふっかけてくるならしように  
ないでしょ。話が割れば示談にはならない。

木村 あんまりじゃないですか…

中竹 何が?

木村 そうじゃないですか、悪いようにしないから会社が不利にならないようにって。

中竹 疲れて眠いとか身体の具合が悪い、出来ない仕事ならはっきりそう言えばそれ  
なりに手は打ちますよ。残業はいやだといえ、他の運転手を都合すればいい  
だけなんだ。

木村 断れないようなやり方してるでしょうが。それを私ばかり居眠り不注意、ま  
るで私だけが…

中竹 それなりの話し合いは相手ともしましたよ。でもね、こちらが示した金額じゃ

納得しないんだから、それ以上は仕方ないでしょう。

木村 じゃあ、私を刑務所に入れる気なんですよ。

中竹 まだ入るかどうかわかんでしょう。入って欲しいなんて誰も言ってませんよ。木村 だって、訴えられたんですよ。

中竹 迷惑してるのは会社も一緒、あんただけじゃない。

木村 私ですよ、訴えられているのは。

中竹 事故を起こしたのは君じゃないか。当て逃げじゃ言い訳できませんよ。

木村 ちゃんと会社に連絡とったら、当直が品物を届けてからに…

中竹 指示は責任ある私が出すことになってる。

木村 真夜中で連絡がとれないから…

中竹 私が事故を起こせと言ったかね。当人はね事故があったという報告は聞いたらしいが、よけいなことは言っていないよ。

木村 そんな。…この通りですよ。なんとか示談ですませて下さいよ。

中竹 事故があればすぐ警察や病院に連絡とって必要な処置をするのは、うちの会社にいようといまいと運転手の最低の責任でしょう。

木村 たいしたこと無いと思って…

中竹 それは私の判断じゃない。(クラクション) はい、ただ今まいります。

木村 何でもします。どんなことでもやりますから、今働けなくなると家が、ローン…

中竹 だからやるだけのことは会社ではやったと言ってるでしょう。下げる必要のない頭を何度も下げてね。君は自分のことばかりで人のことはどうなってもいいというのかね。

木村 ねえ、この通り。この通りですからもう一度向うの人と会って、取り下げて貰って下さい。…お願いします。お願いします。

中竹 あんな意地きたない相手に会う気はない。(去る) これはどうもどうもお待たせしました。

間

木村 部長。(去る)

「東京料金所」

早朝、雨、車を止める

石川、伝票を手に車から降り

公衆電話、思いとどまり再び運転席へ

沢田 電話しないんですか？

石川 ああ、いいや、直接持ってっちゃうわ。

沢田 生産予定が狂って困るんじゃないですか？

石川 あんた電話してくれるかな？

沢田 …いや。…

石川 今頃お宅の会社からうちの会社にやんやの催促電話入ってんだろ。…話し中で通じなかったって言うよ。どう言い訳したっていいたいこと言われるんだし、電話でどなられて、運んでいやみ言われたら世話ないもんね。

沢田 …

石川 あっ、いけね。

石川、手に道路地図を持って降り

公衆電話

東京の道路地図

石川 もしもし。百十九、消防署ですね。…こちらアルキルアルミニウム運搬車です。今、東名の料金所ですが、これから都内を抜けて千葉まで運送しますので申告します。…はいそうです。十一トンのロング、色はダークグリーン。東名出口から千葉まで経路は、…はあ分かっています。首都高速は危険物通行禁止。…はい、いいですか？ 目黒通りからきよまさこう前交差点で、はあっ？ …せいしようこう前っていうんですか。清正公前交差点から桜田通り、三田から第一京浜、新橋を通過して昭和通り、江戸橋、本町浅草橋から京葉道路で抜けます。途中の消防署への手配よろしく願います。…はい、…はい、江戸橋…そうです。…今、午前四時十分前ですので、丁度四時に出発します。…はい、どうもありがとうございます。はいはい、充分に気をつけて。…はい、どうも、じゃよろしく。

車に戻る

石川 お宅どうする。東名の出口から下通ってあんたの会社まで行くけど？

沢田 …

石川 御殿場でもう一つの事故にあわなけりやもつと早く着けたのに、…まあ、仕方ない、霧の名所だから。

沢田 いや、東名降りたらタクシーでも拾って帰ります。

石川 …そのほうが安全だ。さて行くか、これが着かなきゃベルトが動かない。動かぬベルトを動かすか。

恵美登場

恵美 あら、お帰りなさい。

石川 おい。

恵美 うん…

石川 カレーでいいよ。

恵美 えっ？

石川、いきなり自分の頬をひっぱたく  
エンジンを掛ける

白々と夜が明けゆく中、車が走り出す

幕 2023/10/03